

# 第六十七回日本書道院展覧会出品要項

○会 期 平成三十年四月三日(火)より八日(日)まで ※休館日無し  
 入館・午前九時三〇分〜午後五時(閉場午後五時三〇分)・但し最終日は入場午後二時三〇分(午後三時撤去)

○会場 東京都美術館(上野公園八―三六)

○出品部別 第一科 漢字・かな・詩文書(臨書作品を含む)  
 第二科 漢字・かな・詩文書(臨書作品を含む)

咲蕾(さくら)展 漢字・かな・詩文書

## ○出品形式

- 一、作品はすべて枠張り表装のこと。(咲蕾展については、日本書道院事務局から一括依頼する)
- 二、作品には出品目録を添え裏面中央に出品票(大)を、細票を縦作品は枠右側に、横作品は下側の夫々中央に貼付すること。同人以上は出品目録にある出品者氏名の個票を作品枠内の右下に仮貼付すること。公募作品は出品目録提出後に、出品者氏名の個票を送付するので、同人以上と同様に扱うこと。
- ★第一科審判グレー 第二科審判スカイブルー 学審IIイエロー 同人IIピンク
- \*同人以上の詩文書 色は右の各科と同じくするが各科表示部分の文字を反転白抜きとする。
- ★公募 第一科II漢字は「ホワイト」 かなは「グリーン」 詩文書は「ブラウン」  
 第二科II漢字は「オレンジ」 かなは「サーモンピンク」 詩文書は「ブルー」  
 咲蕾展II漢字・かな・詩文書とも、「ライトブルー」

◎同人以上の方には姓号(姓名)の入った出品目録を送るので紛失しないこと。

- 三、他展へ一度出品した作品は受理しない。新しく製作された作品を出品すること。
- 四、出品点数 審査会員・同人・一般公募共、漢字・かな・詩文書の夫々各一点を出品することが出来る。
- 五、出品料 左表を参照。但し、複数出品の場合は、二点目・三点目が一科のものは一万円、二科のものは六千円とするが咲蕾展は二点目・三点目の出品料は適用はしない。二十三歳(一九九四年四月二日生まれ以降)以下の公募出品者は、一科五千円、二科三千円、三科三千円。(学生証・免許証等の写しを出品目録裏に貼付のこと)

## 第六十七回展 作品形式

○規格(仕上り寸法)及び出品料

科別	記号	漢字・かな・詩文書								作品規格・仕上り寸法	作品用紙の一例	公募出品料等						
		漢字・かな・詩文書																
科	X	A	B	C	D	E	F	G	H	最大縦十尺×横六尺 出品目録に記号Xと記入	*十尺作品は縦のみ	別記①を参照						
第一科		二尺三寸(六九cm) 一〇尺(三〇三cm)	二尺(六〇cm) 八尺(二四三cm)	二尺六寸(七八cm) 六尺(二八二cm)	四尺(二二〇cm) 四尺(二二〇cm)	二尺(六〇cm) 六尺(二八二cm)	二尺四寸(七二cm) 五尺(一五〇cm)	一尺五寸(四七cm) 五尺五寸(一七〇cm)	一尺五寸(四六cm) 一尺一寸(三四cm)	五三cm×二七〇cm(縦作品)	五三cm×二三四cm(縦横自由)	七〇cm×一七五cm(縦横自由)	一一〇cm×一一〇cm(縦横自由)	五三cm×一七五cm(縦横自由)	六八cm×一四六cm(縦横自由) (全紙判可)	四二cm×一六〇cm(大判半切) 三五cm×一三五cm(半切) (どちらも縦作品のみ)	三三・五cm×二四・三cm(縦横自由) ※市販の半紙サイズです。 ※リサイクル半紙「未来箋」可	第一科審査会員に限る
第二科																		第二科審査会員・ 学生部審査会員 最大寸法
咲蕾展																		5千円 裏打ち表装貸額代含む 貼り雑ぜは別途追加あり

◆咲蕾展作品は、漢字(多字数・小字数・一字書)・かな・詩文書で縦書き横書きについても受け付ける。  
 展覧会出品作品として、号や雅印の形式を整えること。姓名印のみでも受け付ける。  
 (注) (1)出品作品は総て表の規格(仕上り寸法)による枠張りとして、規格以外の作品は受け付けない。  
 (2)第一科審査会員の出品作品は、第一科(記号)のA・B・C・D・E・Fの何れでもよい。

別記①理事・監事・顧問・文部科学大臣賞受賞者は六尺×一〇尺以内の作品も受け付ける。二十一世紀賞・会長賞受賞者及び毎日書道展審査委員は三尺×一〇尺または四尺×八尺以内の作品も受け付ける。ただし一〇尺作品は縦作品のみ、その他は縦横自由とする。この場合出品目録の作品記号は記号X(エックス)と記入し、仕上がり寸法も記入する。また、第一科審査委員以外の毎日書道展会員はAサイズで出品できる。審査委員は卷子・折帖も可とするが、陳列ケース使用のため部分展示となる場合がある。

(3)第二科・学生部審査委員の出品作品は第一科(記号)のB・C・D・E・Fの何れでもよい。

(4)同人及び公募第一科の出品作品は第一科(記号)のE・Fに限る。

(5)公募第二科の漢字・かな・詩文書出品作品は、第二科(記号)のGに限る。

(6)公募咲蕾展の漢字・かな・詩文書出品作品は、第三科(記号)のHに限る。

\*第三科は返却時に買取額による額装希望がある場合は、事務局へその旨書面で伝えること。

◆第一科・第二科・学生部各審査委員・同人・並びに公募出品者共、夫々の規格寸法により漢字・かな・詩文書作品と併せて三点を出品することが出来る。但し、出品料は「五、出品料」の項を適用する。

◆同人以上の出品者で事情により規定大作品を出品できない時は、二科・咲蕾展で出品しても良い。

○搬入 平成三十年三月二十五日(日)東京都美術館\*出品目録・一覧は三月一日までに日本書道院事務局へ。

○搬出 平成三十年四月九日(月)午前九時三〇分より正午までの間に会場事務所にて行う(表具店対応)。

\*搬入・搬出とも東京都美術館搬入・搬出より地下三階会場へ、日本書道院展事務局にて受け付ける。

○鑑別審査 一、作品は鑑別審査の上入選した作品を展示する。

二、入選者には入選通知と後日入選証を贈る。

三、同人以上の作品は無鑑査とする、但し甚だしく体裁を損なうものは展示しない場合もある。

○褒賞 一、審査の結果、優秀な作品には選考の上、次の賞を贈る。

・日本書道院賞・全日本書道連盟賞・毎日新聞社賞・推薦・特選・秀作・佳作・咲蕾賞

\*咲蕾賞受賞は同人昇格要項の規定を適用しない。(同人以外は参考作品として賞対象外)

二、同人以上の作品で、優秀な作品には選考の上、次の賞を贈る。

・第一科審査委員Ⅱ会長賞・毎日書道会特別奨励賞・第二科審査委員Ⅱ特別大賞・奨励賞

・学生部審査委員Ⅱ大賞・奨励賞

・同人Ⅱ特別賞・奨励賞

三、他に文部科学大臣賞・東京都知事賞・埼玉県知事賞を贈る。

尚、文科大臣賞選考委員の推薦で特に優秀な作品に二十一世紀賞を贈る。

○表彰式 平成三十年四月六日(金)午後三時より行う(於ホテルラングウッド)

○その他

一、作品は不可抗力の災害に対してはその責を負わない。

二、本規定に明記されていない事項は理事会において処理する。

三、展覧会規定・出品目録等を必要とする場合は、返信用封筒(宛名を明記し)を同封して本院事務局まで申し込むこと。

四、展覧会図録を展覧会終了後刊行する。(七月下旬予定)

◆図録には第一科・第二科何れも推薦以上の入賞作品を掲載する。従って上記の入賞者は、入賞発表後図録代として一万三千元(写真撮影代・ブロマイド八枚含む)を納入すること。

◆同人・特別賞受賞の者に限り本院負担にて図録に掲載し贈呈する。(ブロマイド八枚含む)特別賞以外の者でブロマイドを希望する者は文書にその旨を明記してブロマイド代(撮影料・

一〇枚Ⅱ五千元・送料含む)を同封の上、搬入日前必着にて事務局宛に申し込むこと。

平成二十九年十月

一般社団法人 日本書道院

〒110-0002 東京都台東区上野桜木一―一二―二

☎〇三(三八二二) 一二四六

後援 文部科学省 東京都庁

東京文化会

埼玉県

毎日新聞社

財団法人 毎日書道会

公益社団法人 全日本書道連盟

社団法人

## 第六十七回 日本書道院展出品者の集い開催(展覧会祝賀会)

一、とき 平成三十年四月六日(金)午後五時(表彰式は午後三時)

一、ところ ホテルラングウッド(荒川区日暮里五―五〇―五 Ⅷ三八〇三―一二三四)

一、会費 一万円(着席パーティ)\*テーブル指定を検討する

・出席希望の方は四月三日(火)までに展覧会会場出品者の集い受付へ申し込む。(会費は当日集金)

・なお、今回「出品目録」に出品者の集い申込欄を設けるので作品提出時にお申込み下さい。

◆第六十七回全国学生展同時開催、平成三十年四月三日(火)〜八日(日)まで。(於東京都美術館)

◆出品要項は別紙の全国学生書道展覧会募集要項を参照のこと。(休館日無し)